3年　社会科　学習指導案

授業者【T1】学級担任

　　　【T2】学校栄養職員

1.　日　　時　平成30年（2018年）11月13日（火）3限（10：50～11：35）

2.　学　　年　3年

3.　場　　所　3年教室

4.　題　　材　「みのお市でつくられている農作物」

5.　学習目標　・箕面産の農作物について関心をもつ。

・地産地消のよさを知る。

6.　食に関する指導の視点

地産地消について知り、地域の農作物を選ぶことの大切さを知る。〈食品を選択する能力〉

7.　指導にあたって

　（1）教材観

　　　　本学年では、総合的な学習の時間に地域のことを深く知り箕面の良さや特色を調べることで、さらに地域に愛着を持てるような活動を行ってきた。3年生から社会科の学習が始まり、自ら情報を仕入れる調べ学習が多くなってきた中で、萱野小学校について調べ、次に箕面市について調べることで箕面への関心が高まってきている。社会科の校外学習として地元のスーパーマーケットへの見学に行き、「買い物名人になろう」という題材で2つのマーケットから商品を選び、買い物のコツを考える授業を学校栄養教諭と共に行った。本時では、商品選びや既習事項の産地について学習したことを導入に取り入れた。栄養教諭より普段食べている給食に箕面の農作物が使われていることや身近にいる生産者について伝えることで、地産地消への理解を深めようとした。

　（2）児童観

　　　　※個人情報のため削除

　（3）指導観

　　　　給食室前では子どもたちが給食への興味を引くように箕面産食材の紹介を通年続けている。さらに、この学習をするにあたって、意欲的に取り組む手立てとして、給食に登場した食材を貼りつけた箕面産マップを作製した。本時では、事前に行った買い物の学習や産地の学習を導入で取り入れ、子どもたちにとって取り組みやすい内容となるよう工夫した。また、本市では栄養教諭が生産者の畑を訪れ取材を行い生産者との交流を深め、学校と地元農家との連携をすすめてきた。その交流の中で得たことや取材内容を資料として提示することで栄養教諭の専門性を生かし、担任と連携した授業をすることで「地産地消」についての学習をより深められる授業にする。

6.　展開　1時間（45分）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 子どもたちの活動 | 授業者の支援・指導のポイント | ◇指導上の留意点  【評価：評価方法】 |
| 導入  （5分） | 〇前回の授業を思い出す。  〇ある日の給食メニューから、箕面産の食材をさがす。  予想したものに○をつける。  〇給食材料の産地について知る。（答え合わせ） | 【T1】2つのしいたけから箕面産を選ぶことの理由を問いかける。  【T1】ある日の給食メニューを提示する。  【T2】給食のメニューから箕面産を示す。  ・ごはん・牛乳・鶏肉のマーマレード煮・みそ汁（米・牛乳・鶏肉・大根・玉葱・人参・しいたけ・ゆずマーマレード・ほうれんそう）  ・○○産＝○○で作られたものだということを知る。  ・給食の食材を日本地図と結ぶ。  ・給食で使われている箕面の作物を知る。  ・給食では箕面産を積極的に使っていることを知る。  めあて：みのお産の食べ物を食べると、どんなよいことがあるか考えよう | ◇【T2】給食では箕面産を積極的に使っていることに気づかせる。 |
| 展開  （25分） | 〇課題を知る。  〇みのお産の説明を聞き、みのお産のよいところをさがす。見つけたらメモしていく。  〇ひとりタイム  〇ふたりタイム  〇発表する。 | 【T1】箕面産の食べ物を食べるとどんなよいことがあるか探させる。  【T2】畑の様子や箕面産の特徴を紹介する。  ・自分たちの地域の近くにある田畑  ・箕面の田畑で育っている産物  ・箕面産米が給食に入ること  ・農家さんの苦労・工夫していること  ・箕面の田畑が活性化した理由  ・近くで取れているから新鮮  【T2】メモをまとめる時間をとり、内容を共有し合う。  ・朝とって、すぐに朝市に出すので新鮮  ・作っている場所が知っているところだったら安心・安全  ・遠くから運ぶと燃料と時間がかかる  ・農家さんの思い　　　　　　…など | ≪知識・理解≫  給食で食べている箕面の農産物について知る。 |
| まとめ（15分） | 〇地産地消について知る。  〇みのおの野菜を売っている場所を知る。  〇わかったこと、感じたことを書く。  〇発表する。 | 【T1】発表の内容のキーワードになる言葉を確認し、まとめていく。  ・しんせんなものを食べられる  ・作っている人や場所がわかるので安心・安全  ・地きゅう(環境)にやさしい  ・のう家さん（作っている人）の思いが伝わる  【T1】地産地消という言葉を聞いたことあるか。  【T2】地元で生産（つくられた）されたものを地元で消費（食べる）することを地産地消という。  ①自分の畑で採れたものを自分の家で食べる  ②学校の畑で採れた野菜を給食で使う  ③無人販売所・朝市で箕面産の野菜を買って食べる  ④箕面市の畑で採れたものを直接買う  【T2】朝市や販売所を紹介する。  【T1】地産地消のよい点をまとめる。  【T2】農家さんのメッセージを紹介する。 | ≪関心・意欲・態度≫  地産地消をすすめる生産者の苦労を知り、感謝して食べる態度を養う。 |

7.　板書計画

　みのお産の食べ物を食べると、どんなよいことがあるか考えよう。

みのお産のよいところ

箕面地図

・----------------------------------------

・----------------------------------------

・----------------------------------------

・----------------------------------------

・----------------------------------------

・しんせんなものを食べられる

・作っている人や場所がわかるので安心・安全

・地きゅう(環境)にやさしい

・のう家さん（作っている人）の思いが伝わる

地産地消とは

地元で生産（つくられた）されたものを地元で消費（食べる）すること

8.　評価規準　・給食で食べている箕面の農産物について知る。（知識・理解）

　　　　　　　・地産地消をすすめる生産者の苦労を知り、感謝して食べる態度を養う。（関心・意欲・態度）